

みでの

永平寺
町議会
だより



第66号 INDEX

令和4年5月6日発行

令和4年度当初予算審議報告 P4

そこが聞きたい!

議員13人が一般質問 P11~17

議会活動レポート P18



押してね!

永平寺町議会
facebook

永平寺町議会

検索



永平寺川東古市地区鉄橋と桜
写真提供 平林 甚一さん

令和4年 第2回定例会報告

議長 奥野 正司

令和4年第2回永平寺町議会定例会は、3月14日（月）から3月25日（金）まで12日間開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

令和3年度 一般会計補正予算審議報告

【主な項目】

【専決】
デマンド型交通促進事業
100万円



コロナワクチン接種 1,643万円
障がい者自立支援 3,000万円
町外広域入所児童委託 620万円
子ども医療費助成 300万円

一般会計補正予算

総額 **4億4,741万円**

基金積立金 3億3,266万円
除雪事業 6,000万円
舗装補修工事（花谷・牧福島線） 2,200万円
中山間地域総合整備事業 2,940万円
介護保険特別会計繰出金 △1,183万円
町立在宅訪問診療所特別会計繰出金 △789万円

国民健康保険事業特別会計補正
820万円

後期高齢者医療特別会計補正
380万円

特別会計補正予算

総額 **▲4,342万円**

介護保険特別会計補正
▲7,632万円

町立在宅訪問診療所特別会計補正
834万円

上水道事業会計収益的支出
248万円

下水道事業特別会計補正
701万円

農業集落排水事業特別会計補正
258万円

土地開発事業特別会計
297万円

主な質疑応答

介護保険特別会計補正予算

問 コロナ禍でサービス利用の減は。昨年度は余剰金が出ていたが。

答 利用を控えている傾向により、給付費は減少。

問 8期介護計画に生かしているのか。

答 8期においては1億円の基金を投入した。結果的には余剰金が出ている。

町立在宅訪問診療所特別会計補正予算

問 町立診療所の黒字が見込まれ喜ばしい。診療所の話はあまり議会に報告されていないが。

答 介護保険運営協議会に議会代表も入っている。別に診療所運営委員会も設けてある。質問頂ければ丁寧に回答する。

下水道事業特別会計補正予算

問 不明水は実際のどの程度か。

答 要因はマンホールと管の接合部分からの流入や、志比地区の管路はヒューム管で、ひび割れ箇所からも流入。

土地開発事業特別会計補正予算

問 残り2件はどういう流れでいい結果が出たのか。

答 2件は県内の町外在住者。直接契約者が役場にきて申し込んだ。

問 ニーズがないわけではない。PR次第。次に繋がるように。

答 今後は上志比、永平寺、吉野地区についても対応したい。

令和4年 第1回臨時会報告

議長 奥野 正司

令和4年第1回永平寺町議会臨時会は、1月20日（木）に開催されました。審議された内容は次のとおりです。

令和3年度 一般会計補正予算審議報告

【主な項目】

【専決】
上志比幼稚園エアコン取替 **90万円**



一般会計補正予算

総額 **1億4,825万円**

コロナ
臨時特別給付金支給事業 1億2,753万円
ワクチン接種事業 1,355万円
空気清浄機・検査キット購入 306万円



子育て支援 施設管理諸経費ほか 198万円
上志比文化会館 冷却水ポンプ修繕費 204万円
下水道事業特別会計繰出金 10万円

特別会計補正予算

国民健康保険事業特別会計補正予算 **4万円**

下水道事業特別会計補正予算 **1億3,770万円**

主な質疑応答

一般会計補正予算

問 上志比幼稚園エアコン取替工事の詳細は。

答 経年劣化による故障。天井埋め込み式。配管撤去含む。89万1000円設計額。請負率97・9%。

下水道事業特別会計補正予算

問 特別調査事務の内容は。

答 令和4年・5年度実施設計の発注で、メーカー見積りに対して適切な市場価格の調査を第三者機関（建設物価調査会）で調査。今回の国庫補助事業の採択要件。

問 業者見積りが現在の適正価格より上回った場合は、実施設計の単価を入れ替えて発注。下回った場合はどうするのか。また、工事費は社会資本整備総合交付金と、地方債の発行（借金）で発注することから、適正価格での発注が行政の財政運営上非常に大事。

答 過去には歩切り等あったが、今はコンプライアンス上、品質管理法に準じ最低落札価格を設定し法律遵守で対応している。

第1回臨時会議案

承認第1号 令和3年度一般会計補正予算の専決処分について	承認	議案第2号 令和3年度国民健康保険事業特別会計補正予算について	可決
議案第1号 令和3年度一般会計補正予算について	可決	議案第3号 令和3年度下水道事業特別会計補正予算について	可決







令和4年度当初予算審議報告

令和4年度
当初予算
総額 **139億3,077万円**
0.02% (前年度予算対比)

議案第13号「令和4年度一般会計予算」と議案14号から議案第20号までの「各特別会計予算」及び議案第21号「企業会計予算」について、慎重に審議を行い原案通り可決しました。

一般会計 **83億5,635万円** ▲1.2%
特別会計 **50億2,327万円** 0.7%
企業会計 **5億5,115万円** 15.7%

【主な項目】

 吉峰寺キャンプ場施設 管理諸経費（解体工事他） 2,184万円	 道の駅運営管理事業 （施設整備・増築工事他） 2,245万円	 除雪事業 1億2,334万円
 コロナウイルスワクチン 接種事業 6,389万円	 松岡中学校施設整備費 5,268万円	 消防車両等整備維持事業 （高規格救急車購入） 3,367万円

公共交通事業（路線バス・コミュニティバス・えちてつ・デマンド・自動走行）	1億3,806万円
IT拠点施設運営事業	1,772万円
ふるさと納税事業	6,081万円
地域資源活性化事業	656万円
コロナ感染症利子補給金	437万円
住宅支援事業	1,885万円
米受給調整円滑化推進事業	3,935万円
担い手育成事業	7,324万円
障がい児支援事業	4,652万円
元気長生き健康づくり推進事業	2,409万円
子ども医療費助成事業	6,821万円
公債費（町債償還金および利子）	9億2,810万円

主な質疑応答

一般会計当初予算 第1審議

◆総務課

問 高齢者の事故が増えているが、高齢者運転免許証自主返納支援事業補助金4万4000円は前年度から43%減。

答 予算は65歳以上免許返納対象者人数を反映、令和2年32名、令和3年62名の実績の平均値。啓発活動は積極的に進める。中長期的に地道に行うべきものと考えている。

問 公共交通が地域の足となるよう効率的運用は。

答 今年は、志比北のコミュニティバスの日中2便を近助タクシーに置き換える。

問 地域おこし協力隊募集、コロナで都市部と行き来しにくい状況が続いているが、オンラインで問い合わせ対応できているか。

答 オンライン相談会を1回行った。要望には都度対応。

問 EV公用車導入、走行のパワーは足りるのか。災害時の給電は期待できるか。

答 町内移動には充分。本庁舎には災害時の非常用発電機があり、車庫に充電設備を設置することで学校教育課のある棟にも電気供給が行えるようにする。

問 ふるさと納税、減収分はどうか

◆商工観光課

問 えい坊館の運営方針をいつまで、どのように考えているのか。

答 多くの団体・事業者・町民が協力いただける施設を目指し、物産協会と協議している。遅くとも9月までには決める。

問 町内の観光業は、コロナの影響で大打撃を受けている。新幹線や中部縦貫道開通までにどのように立て直しをするのか。

答 大本山永平寺の他、魅力ある観光資源を洗い出し、磨き上げていく。県や他市町との連携。観光プロデューサーの専門家の協力を得る。

問 町内の観光業は、コロナの影響で大打撃を受けている。新幹線や中部縦貫道開通までにどのように立て直しをするのか。

答 3年度は福井税務事務所等による景気動向調査をもとに新型コロナの影響を大きく考慮したが、実際はそれほど減少しなかったため、4年度は影響を小さく想定した。

問 令和3年度当初予算時の税収は前年度より減額見込みであったが、4年度は増額見込みとなった理由は。

答 現在の起債残高は86億6000万円、そのうち83億円は有利な起債となっている。



ダンボールコンポスト講習会

◆福祉保健課

問 すこやか介護用品支給がチケット制になった理由と、高齢者の雪下ろし支援の内容は。

答 配達していた町内の薬局が閉店し対応が困難になったが、町外・町内事業者の協力で配達は継続している。チケット制にしたのは、必要な物を必要な人にとの主旨。雪下ろしは、各自自治会での支援や、地域での支え合う体制を展開していきたい。

問 温泉施設令和5年度の指定管理者募集までに整備する事と、今後の計画は。

答 浴槽のタイル張替え、更衣室の床の修繕が必要。また、令和4年8月までに次期指定管理者のプロポーザルを行う。

◆子育て支援課

問 幼児園・幼稚園施設長期保全・再生計画の見直し、変更は。

答 令和7年度を目途に示す。今後の活用は。

◆総合政策課

問 デマンド交通、志比南と吉野地区の実績は。

答 1日あたり志比南12月5・4人、1月9人、2月14・4人。吉野1月4・6人、2月7・2人の利用者。

問 自動走行400万円の内訳は。国の関わり方は。

答 本格運行に関する経費。本格運行してないところで実証実験する場合には、国がもつため町の予算には表れない。

問 宅地造成、今後の展開は。農地の活用は。

答 来年度早々にスピード感を持って行う。上志比地区、永平寺地区に候補はある。農地については埋め立て等、初期投資もかかるため、まず空き地から。

◆防災安全課

問 災害時要配慮者の個別避難計画作成は基本拳手方式。障害のある方が取りこぼされないか不安がある。福祉保健課や県難病センターに情報照会を行いながら行われているか。

答 県から156名難病患者がいると聞いている。関係機関からの情報を照らし合わせながら行う。

問 令和3年度当初予算時の税収は前年度より減額見込みであったが、4年度は増額見込みとなった理由は。

答 現在の起債残高は86億6000万円、そのうち83億円は有利な起債となっている。

問 臨時財政対策債や合併特例債など、有利な起債の借り入れ見込みは。

答 現在の起債残高は86億6000万円、そのうち83億円は有利な起債となっている。

問 令和3年度当初予算時の税収は前年度より減額見込みであったが、4年度は増額見込みとなった理由は。

答 現在の起債残高は86億6000万円、そのうち83億円は有利な起債となっている。

◆財政課

問 臨時財政対策債や合併特例債など、有利な起債の借り入れ見込みは。

答 現在の起債残高は86億6000万円、そのうち83億円は有利な起債となっている。

問 令和3年度当初予算時の税収は前年度より減額見込みであったが、4年度は増額見込みとなった理由は。

答 3年度は福井税務事務所等による景気動向調査をもとに新型コロナの影響を大きく考慮したが、実際はそれほど減少しなかったため、4年度は影響を小さく想定した。

問 令和3年度当初予算時の税収は前年度より減額見込みであったが、4年度は増額見込みとなった理由は。

答 現在の起債残高は86億6000万円、そのうち83億円は有利な起債となっている。

問 令和3年度当初予算時の税収は前年度より減額見込みであったが、4年度は増額見込みとなった理由は。

答 現在の起債残高は86億6000万円、そのうち83億円は有利な起債となっている。

◆農林課

問 有害鳥獣の捕獲頭数の内訳は。

答 510頭のうちシカ150、イノシシ150、幼イノシシ80、アナグマ50など。

問 地域振興作物・推奨作物支援事業の内容は。

答 地域振興作物の玉ねぎ・にんにく・スイートコーン・推奨作物のれんげ米・小麦に対し、一件あたり1/2補助するもの。

問 商工観光課

問 えい坊館の運営方針をいつまで、どのように考えているのか。

答 多くの団体・事業者・町民が協力いただける施設を目指し、物産協会と協議している。遅くとも9月までには決める。

◆建設課

問 ブロック塀除去の対象件数と、これまでの実施件数は。

答 避難路にあるブロック塀は239箇所、令和2年度3件、3年度5件を改善。4年度では11件の除去等を行う予定。

問 丹ボールコンポストの来年度の展開は。

答 昨年度に講習会2回開催し、20名の参加。令和4年度も実施し、ピートモスや薫炭を希望者に配布し、家庭で生ゴミを処理する意識向上を

問 子育て支援課

問 幼児園・幼稚園施設長期保全・再生計画の見直し、変更は。

答 令和7年度を目途に示す。今後の活用は。

施設の統廃合なども進むため、全体計画が決まり次第見直しを行う。適宜必要な対応も行う。

問 子ども見守り宅食支援事業、2事業者で418万8000円の内訳は、今後の展開は。

答 松岡地区、上志比地区で展開している。他に新規の声はなく現在の2事業者で展開する。食材費45家庭分159万円、学習支援費用は、対象者1、155人、57万8000円、運営事務費が202万円。

問 幼稚園運営諸経費のすくすく食補給付費とは。

答 他市町の幼稚園・幼児園に通園している永平寺町内の園児に対し、町内に通う園児3歳以上と同じように、第3子以降の給食費が無償となるよう町が補助するもの。

◆学校教育課

問 コロナ禍における教職員の働き方改革の取り組みは。

答 学校行事の精選・会議の効率化・部活なしの日や学校閉庁日の設定、支援員の増員などをし、子どもと触れ合う時間を多く作っている。

問 「各学校施設長期保全・再生計画」による予防保全の実施状況は。

答 当初計画からの変更はあるが、町全体の財政状況、改修箇所別の危険度など総合的な判断で、事業を前倒して進めている。

◆生涯学習課

問 放課後子ども教室の運営目的と内容は。児童館との違いは。プログラムニング教室は継続されるか。

答 放課後子ども教室は、小学生を対象に地域の方の参画を得ながら、学習や体験活動を行い、住民との交流を図るものである。プログラムニング教室は実施する。

問 地域づくり講座とは。

答 地域づくりに関する講演会や講習会を実施する講師への謝礼。地区振興会を検討する地域で活用したい。

国民健康保険事業特別会計

問 国保会計の今後の見通しと、変更点は。

答 令和4年度は、国保会計改定年度だが、被保険者の皆さんのお陰で基金を積み事ができ安定した運用ができる。

後期高齢者医療特別会計

問 10月から2割負担が始まるが、個人負担は。

答 令和4年度は県の料金改定で、1人世帯は年金などの収入が200万円以上、2人世帯は320万円以上が対象となり、町内では2割弱が対象となる。令和7年9月30日まで、外来診療で1割と3割負担を比較し、1ヶ月3000円を超えると高額医療として払い戻しの制度もある。

介護保険特別会計

問 共生社会の地域づくり取り組みは。

答 生活支援コーディネーターを配置し対応している。また、支え合いの地域づくりとして、ひまわりサポートの会や、近助タクシーの広がりなどがあり、今後、期待したい。

町立在宅訪問診療所特別会計

問 黒字見込みだが、今後の課題は。

答 令和3年度は、180万円の黒字見込みだが、コロナ交付金が170万円あり安定経営ではない。令和4年度は、診療件数の増加に伴い、増員し対応するが、損益分岐点を見極め判断していきたい。

下水道事業特別会計予算

問 公共下水道の耐震対策計画はあるのか。

答 経営戦略の中には盛り込まれていない。中央浄化センター更新を優先。令和12年度までで21億円かかる。

口増対策もしっかり取り組むと回答しており、令和4年度一般会計予算は必要な予算であると確認した。

反対討論 上田 誠

少子高齢、人口減に歯止めをかける持続可能な支え合いの共生社会が求められる今、住民生活、コロナ対策、インフラ整備等、必要と認めるが、①地域コミュニティ再生の具体策不足②一般高齢者予防対策不足③地域再生を阻害する幼保小中の再編計画④コロナ禍での観光商工支援は評価するが、他市町連携や指定管理に対する費用対効果実績の対応不足等、課題があるため。

賛成討論 酒井 秀和

処遇改善について、国の方針に従って運用できていること、移住定住について、民間が入りにくいエリアで宅造を進めること、高齢者の方に元気で生活していただくため地域包括ケアシステム構築を進めていることは説明を受けている。幼保・学校のあり方については子どもの将来を考えて検討していただける

ことを期待する。

賛成討論 酒井 和美

町長の所信にあった「まちづくりは人づくりから」の通り、6月の肉付け予算までに機構改革を整えられることを期待する。基金を崩してまで新たな挑戦や賑わい、手厚さを求める反対意見は、この不測の時代に見合わない。過去の財政規模感覚ではなく、現在の財政状況を見て町が正しい舵取りを行っているか審議し賛成した。

議案第14号

令和4年度 国民健康保険事業特別会計予算について

反対討論 金元 直栄

国保税は県内でも高額だ。昨年、未就学児の個人割を1/2とする国の方針が示されたが、社会保険では個人割などない。その分、国保税の負担は重い。コロナ禍で会計の金あまりも当初予算での対処が見られないことから反対する。

賛成討論

未就学児半額軽減について社

較し、1ヶ月3000円を超えると高額医療として払い戻しの制度もある。

介護保険特別会計

問 共生社会の地域づくり取り組みは。

答 生活支援コーディネーターを配置し対応している。また、支え合いの地域づくりとして、ひまわりサポートの会や、近助タクシーの広がりなどがあり、今後、期待したい。

町立在宅訪問診療所特別会計

問 黒字見込みだが、今後の課題は。

答 令和3年度は、180万円の黒字見込みだが、コロナ交付金が170万円あり安定経営ではない。令和4年度は、診療件数の増加に伴い、増員し対応するが、損益分岐点を見極め判断していきたい。

下水道事業特別会計予算

問 公共下水道の耐震対策計画はあるのか。

答 経営戦略の中には盛り込まれていない。中央浄化センター更新を優先。令和12年度までで21億円かかる。

会保険にはなく、国民健康保険が高いとの指摘について、行政より永平寺町は他市町より負担が多いことから、令和4年度以降改善の検討を行うとの答弁を受けている。

議案第15号

令和4年度 後期高齢者医療特別会計予算について

反対討論 金元 直栄

高齢者への負担は、極小の年金しか得ていない人々についても減免の割合を削り、負担を増やしてきた。さらに10月から、一部に2割負担が課される。消費税の引き上げは何だったのか。よって反対する。

賛成討論 酒井 秀和

指摘の消費税や医療費2割負担についてはすでに議論されており、本定例会で議論の余地はない。

反対討論 上田 誠

10月より実施される2割負担は、低所得者（低額国民年金受給者）にとっては、医療費が直接生活費の負担となり得る。特

議案第13号

令和4年度一般会計予算について

反対討論 金元 直栄

住民にとって必要な予算のあることは認めるが、保育や介護で働く人の待遇が、平均賃金から月額10万円安い。マイナンバー情報の民間活用への準備。宅地造成予定地の不公表。コロナ感染症への住民の不安に配慮されていない。米価下落への対応が著しく遅れている。学校のあり方の答申を尊重すれば、地域に断を持ち込む。

賛成討論 江守 勲

職員の処遇改善については、国の基準に従い改善している。保育士の正規職員も民間園が出来る事で割合は増える。コロナ陽性者の自宅療養には、県が支援物資の供給を対応している。人口増対策についても、町長は、宅造など人

に低所得高齢者の生活を守るためにも、制度改正を認められないことより、反対の立場をとる。

賛成討論 酒井 和美

2割負担についてはコロナ禍の負担が大きくなる中で非課税世帯以外の高齢者への5000円給付なども検討されており負担軽減への配慮は常に行われている。

議案第16号

令和4年度 介護保険特別会計予算について

反対討論 金元 直栄

現在の介護保険会計の基金は、会計の性格上、3年間で被保険者に還元するのが原則だ。ところが、町は基金は将来の会計運営のために蓄えるという。これは認められない。

賛成討論 酒井 秀和

指摘について、行政より余剰金の運用について次年度以降検討するとの答弁があった。今後しっかりと対応していただけるものと考えている。

議案への賛否討論

第2回定例会議案

承認第2号 令和3年度一般会計補正予算の専決処分の承認について	承認	議案第19号 令和4年度農業集落排水事業特別会計予算について	可決
議案第4号 令和3年度一般会計補正予算について	可決	議案第20号 令和4年度土地開発事業特別会計予算について	可決
議案第5号 令和3年度国民健康保険事業特別会計補正予算について	可決	議案第21号 令和4年度上水道事業会計予算について	可決
議案第6号 令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算について	可決	議案第22号 ふるさと応援基金条例の制定について	可決
議案第7号 令和3年度介護保険特別会計補正予算について	可決	議案第23号 吉峰寺キャンプ場条例を廃止する条例の制定について	可決
議案第8号 令和3年度町立在宅訪問診療所特別会計補正予算について	可決	議案第24号 行政組織条例の制定について	可決
議案第9号 令和3年度下水道事業特別会計補正予算について	可決	議案第25号 町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第10号 令和3年度農業集落排水事業特別会計補正予算について	可決	議案第26号 四季の森複合施設条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第11号 令和3年度土地開発事業特別会計補正予算について	可決	議案第27号 町営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第12号 令和3年度上水道事業会計補正予算について	可決	議案第28号 特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第13号 令和4年度一般会計予算について	可決	議案第29号 監査委員の選任について	同意
議案第14号 令和4年度国民健康保険事業特別会計予算について	可決	議案第30号 教育委員会委員の選任同意について	同意 推薦
議案第15号 令和4年度後期高齢者医療特別会計予算について	可決	陳情第1号 シルバー人材センターに対する支援を求める意見書の提出について	採択
議案第16号 令和4年度介護保険特別会計予算について	可決	発議第1号 ウクライナからロシアの即時かつ無条件撤退に向けた日本政府に対する毅然とした制裁措置の徹底強化を求める決議	可決
議案第17号 令和4年度町立在宅訪問診療所特別会計予算について	可決		
議案第18号 令和4年度下水道事業特別会計予算について	可決		

議案への賛否一覧

	松川	上田	中村	金元	滝波	齋藤	江守	伊藤	長岡	川崎	酒井和	酒井秀	朝井
議案第13号	賛	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第14号	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第15号	賛	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第16号	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第20号	反	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
陳情第1号	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等25件については全員賛成です。

テレビ中継で
ご覧ください

6月定例会

中継

議場で傍聴も
できますよ!

5月23日(月) 10時～ [本会議]
5月30日(月)・31日(火)・6月1日(水) 10時～ [一般質問]
6月2日(木)・6日(月)・7日(火) 9時～ [本会議(第1審議)]
6月10日(金) 9時～ [本会議(第2審議)]
6月13日(月) 13時～ [本会議(第3審議)・採決]

★事前申し込み不要
★バリアフリー、エレベーター完備
★ソーシャルディスタンスでの傍聴をお願いします

○日程は、都合により変更になる場合がありますので、ご了承ください。

議案への賛否討論

議案第20号
令和4年度土地開発事業特別会計予算について

反対討論 金元 直栄

一般会計の討論にも含めたいが、この会計が持たれた以上、いかに計画的に継続的に取り組まれるかだ。本町の移住受け入れが清流地区だけでは、町にも周辺地域にも展望は無い。それに、計画が明らかにされないのは問題だ。

賛成討論 酒井 秀和

土地開発事業については行政より、民間企業が入りにくいエリアで宅造を進めていくとの答弁があった。今後計画性を持って進めていただけるものと考えている。

陳情第1号

シルバー人材センターに対する支援を求める意見書の提出について

反対討論 酒井 和美

センターの意義は重々理解しているが、目的を生きがい創出とし「家計に心配ない」92%の高齢者のための事業。

当町でも運営費1400万円助成行っているが、今後物価上昇も予測される中、インボイス制度の特例として全額控除を認める措置は、社会全体の公共の福祉に少し反していると考えられる。民間事業者に足並みを合わせる努力を求めたい。

賛成討論 酒井 秀和

インボイス制度による益税を無くす政策は必要だが、委員長説明にある高齢者の生きがいづくりや健康寿命を伸ばすことは超高齢社会を迎える日本にとって重要なことである。本陳情の意見書のとおり、シルバー人材センターおよび事業者への負担は考慮すべきであり、他の協同組合と同様の対応が必要である。

発議
1号

「ウクライナからのロシアの即時かつ無条件撤退に向けた日本政府に対する毅然とした制裁措置の徹底強化を求める決議」

永平寺町議会では令和4年第2回永平寺町議会定例会において、議員発議1号として、下記の決議文を全員一致で可決した。
また永平寺町議員一同からウクライナへ6万円を寄付しました。

決議文 ウクライナからのロシアの即時かつ無条件撤退に向けた日本政府に対する毅然とした制裁措置の徹底強化を求める決議

令和4年2月24日、ロシアによるウクライナ領土への軍事侵襲が、自制を求める世界の多くの声を無視する形で開始され、既に攻撃を受けているウクライナ周辺の都市や地域では、非戦闘員の一般市民にも多くの死傷者が出ている。今般のウクライナに対する一方的な武力行使は、同国の国家主権と国民の人権を踏みにじる明白な国際法違反、国連憲章違反であるばかりではなく、国際秩序の平和と安全にも深刻な影響を及ぼす暴挙と言わざるを得ず、強く非難する。また、核兵器使用の可能性をも示唆するロシア指導者の恫喝や軍による原子力発電所への攻撃は、唯一の戦争被爆国であり、福島第一原発事故を経験した日本国民として、断じて許すことはできない。

私たち永平寺町議会は、生命の尊厳と恒久平和を強く求める永平寺町民を代表する議会として、ロシア政府に対しウクライナからの即時かつ無条件撤退と、全ての人々の人権が尊重される平和的解決を断固求める。

また、日本政府には、国際社会との強固な連携のもと、侵襲行為に対する重い代償として、あらゆる選択肢を視野にロシア政府に対する毅然とした制裁措置の徹底及び強化を強く求めるものである。

令和4年3月25日

福井県永平寺町議会

そこが聞きたい! 問&答

3月定例会 一般質問

13名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。
一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

一般質問 目次

伊藤 博夫 … 11P	齋藤 則男 … 12P	川崎 直文 … 12P
松川 正樹 … 13P	朝井征一郎 … 13P	中村勘太郎 … 14P
酒井 秀和 … 14P	長岡千恵子 … 15P	金元 直栄 … 15P
酒井 和美 … 16P	江守 勲 … 16P	上田 誠 … 17P
滝波登喜男 … 17P		

請願2件を継続審査とする

総務産業建設常任委員会 委員長 酒井 秀和

令和4年3月23日に開催し、全
員出席のもと協議内容について慎
重に審議した。

■請願2件

・請願第1号
「水田活用の直接支払い交付
金」の見直しの中止を求める請願

【採決結果】継続審査

【主な意見】

国の方針が定まっていない。そ
の方向性を確認して協議したい。
見直しの中には「現場の課題を検
証しつつ」とある。ここをしっかりと
行ってもらいたい。

永平寺町の現状について把握する
必要がある。

以前は水田だった。なぜ水入れて
さなくなったのか確認したい。

・請願第2号

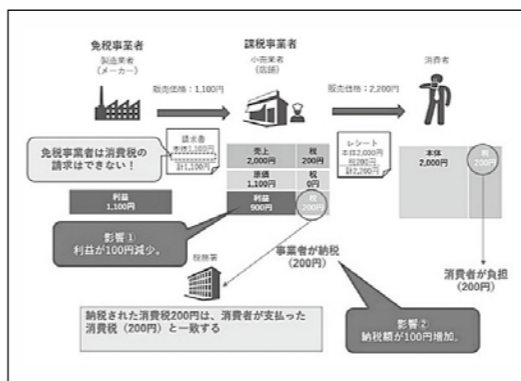
インボイス（適格請求書）制度
の中止を求める請願

【採決結果】継続審査

【主な意見】

インボイス制度の中止と産直セ
ンターの話は異なる。

産直センターの負担を考え、柔
軟な対応が必要。



■年間テーマについて

ア 議会と防災対応
永平寺町自主防災組織連絡協議
会との意見交換会に対する回答に
ついて

各補助金について資料請求し可
視化させたいと報告する。

イ 地元商店(街)の活性化

永平寺町商工会との意見交換会
について

永平寺町商工会の令和4年度要
望書と町の肉付け予算を確認した
上で対応する。

シルバー人材センターの陳情を採択する

教育民生常任委員会 委員長 金元 直栄

当常任委員会は、3月定例会中
の3月23日(水)全委員の参加で
開かれた。

■陳情1件

当委員会へは、シルバー人材セ
ンターから陳情の付託案件があっ
たことから、参考人として同セン
ターの局長、次長に出席を求め
「シルバー人材センターに対する
支援を求める意見書の提出につい
て」の陳情主旨説明を求めた。さ



シルバー人材センターからの陳情主旨説明

らに、本町の税務課長にも出席を
求め、陳情の主旨を学んだ。
案件は、消費税にかかるインボ
イス(適格請求書)の導入により、
同センターに新たに発生する負担
をなくすように国に求めるとした
もので、シルバー人材センターの
業務の性格上、発注者にとっても
値上がりにならず、会員にも負担
にならないようにと、審議の結果、
5対1で委員会採択とした。

■年間テーマ

「現在の子ども達にとって望ま
しい教育(学校)のあり方」に関
連して、学校のあり方検討委員会
から町に対し答申が出されたこと
から、①「答申」をまず読み取る
ために議会での説明を求める。②
各地の学校統廃合への取り組みや
教訓を視察する。③町民の声を聞
く機会を議会として持つ必要があ
る。を確認した。

問 町長の3期目の約束事とは

答 「安心と笑顔」6項目の施策で



伊藤 博夫 議員

問 全ての人が笑顔
になる町「共生社会」つ
くりの推進 「子ども
達の放課後環境整備」
「高齢者ふれあい機会
の充実」とは。

町長 住民が尊重し合
い、人と人が集える
場、皆さんが連携を取
れる環境整備に取り組
む。

問 安全安心支え合
いの町「一人一人の防
災意識の更なる向上」
「地域が求める公共交
通の確立」「いざとい
う時、高齢者を支える
体制づくり」「町全体
で支える子育て支援」
とは。

町長 役場だけが対応
するのではなく、自
助、共助、公助、住民
の意識を上げて高齢化
社会、若い世代にも支

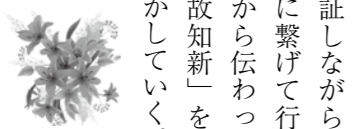
援し安心安全に住める
まちづくりを目指す。

問 自然環境を大切に
する町「環境にやさし
い社会づくり」「地域
交通利用の促進」「地
産地消の推進」「少子
高齢化による地域づく
り支援」とは。

町長 政策面に対策と
連携・連動させ、農
業、山、自然を守り、
脱炭素時代を進める。

問 人が集まる選ばれ
るひらかれた町「地勢
を生かした、交流人口
の拡大」「移住定住の
ための環境整備」「活
躍する、人・団体・
民間企業・町との連携
推進」「新幹線・中部
縦貫道開通に向けての
産業振興」「町外に向
けての積極的な情報発
信」とは。

町長 若者の参加が少
ないと聞くが、古きを
知り検証しながら新し
い技術に繋げて行きた
い。昔から伝わってい
る「温故知新」を世の
中に活かしていく。



問 少子化対策についての考えは

答 安心して子育てできる環境を

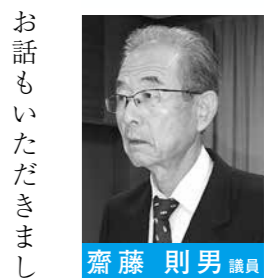
問 若年世代にとつて、経済的な負担の大きさ、家庭と仕事の両立の困難さ、育児に

ついての不安など、子どもを産み育てることをためらわせる経済的あるいは心理的な負担感が強いのは。子どもをもちたいというその希望に応え、子どもを安心して産み育てやすくする環境整備のための支援策をさらに拡充していくことが重要である。



また、子育て支援は単に親の負担を軽減することのみが目的ではなく、親子の関係を良好にし、子育ての喜びを実感できることを通じて、家族機能や家族の絆を強めることにもつながるものだと思

町長 安心して子育てできる環境、また今、社会保障が膨らんでいく中で、親御さんの世代は子育てだけでは支えていただいているということもあり、町全体で子どもたちを支えるということが大事だと思う。今、子育て支援員の



齋藤 則男 議員

お話もいただきました。状況に応じたことをしっかりと考えていかなければいけないと思う。

子育て世代、また子どもたちをしっかりと支えるために、町としても1段ギアを上げていかなければいけないと思う。

意見 どんな町でもお金を出してでも一時的なお金では人を育てることはできないと思う。少子化問題、人口減、これから大きな課題だと思つて。

【その他の質問】 令和4年度の予算について8件の主な事業について、これまでの取り組みの実績をもとに、問題点や改善点は。

問 地域資源を磨き、活用する事業展開は

答 ワークেশション事業等で取り組み

問 「禅」で心を磨き「ZEN」で地域資源

を磨く地域連携体験型ワークেশション事業の進捗は。



り組み、10社程度を受入れる。

1月の禅ワークেশションのモニターツアーに4名(4企業)が参加。永平寺口駅舎での禅ワークেশションの講義。テーマは「永平寺Masaの取り組み」11月19日

令和4年度は学びの禅ワークেশションに取

問 ZEN文化と地域資源を活用した交流人口拡大を目指すためのまちづくりワークেশションの進捗は。



川崎 直文 議員

町内観光関連14団体をメンバーに、令和2、3年度で9回のワークেশションを開催。令和3年度で「人と自然が共生してココロ豊かに」の理念をまとめた。

令和4年度はZEN T A B I I スポーツツーリズム(川・山のアクティビティ、食体験)をモデルツアーとして構築し、実証する。

【その他の質問】 四季の森多業種交流センターの運用は。 答 四季の森を拠点とし町外の技術と、町内の企業との結びつき、マッチングに

問 新設の幼稚園では英会話教室が

答 その予定で公立でも臨機応変に

問 町では前々から、幼児の保護者対象に様々な意向調査をされていたが、中でも民営化の幼稚園に突出して多かった要望は英会話だった。その流れで実施するのがいいとしても、公立でもせざるを得なくなるし、週に何回するのか。小学校の英語は3年生からで、ブランクは痛い。そこから辺の調整は誰がどうするのか。問題点が多すぎる。もう実現には一年足らず。急いで整えなければならぬ。出来るだけ多くの幼児が恩恵に浴するよう、幼児英語教育を設計して欲しい。

◆統廃合に大きな宿題が。スピードと民意の吸収を

問 学校のあり方委員会といえども、全てに配慮を振っていない。我々に宿題を残して

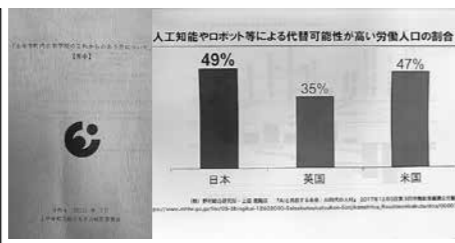
れた。中学校の2段階方式の統廃合も難しすぎる。結局、永中か、松中か、どうやって決めるのか。旧永平寺の小学校3校の統廃合も、一回きりで成功するわけがない。未来への展望がなさすぎる。

町長 町は教育委員会



松川 正樹 議員

からのまとめをしつかり精査する。私共も早くをモットーに方向性を出す。



答申書とIT・ロボットに代替人口

【その他の質問】 松岡幼稚園と西幼稚園の跡地は。 答 西幼稚園は公園に戻す。

問 けやき台をもう一度。 答 けやき台にバスの乗り入れが決まった。

問 全天候型の子ども遊び場を。 答 子育て世帯の方々に聞きながら進める。

問 総合政策課長

町では

総合政策課長

町では宅地造成、住まいる定住応援事業、結婚新生活支援事業、移住就業等の支援事業、今、様々な分野を移住・定住につなげていくために実施している。

今後も町として、永平寺地区、上志比地区で不動産関係とも協議しながら、宅地造成について考えていく。

町長 少子・高齢化の人口増の一つ大きな解決策が働く場の確保。働く場が企業誘致であったり、今、ワークেশションで訪れている方とまず交流して、ここで会社を創ろうとか、何か拠点を創ろうとか、そういう流れになればいいと思う。頑張っていく。

問 コロナ対策、ワクチン接種は

答 町の感染対策、3回目接種は50%確保の見込み

問 高齢者の3回目接種者は。幼児、小中学校の児童・生徒はどうか。

福祉保健課長 高齢者の接種、1回目、2回目は90%で、3回目接種は、3月末までには50%近くは確保できる見込。

防災安全課長 町内感染者数336人(高齢者62名、幼児9名、小学生22名、中学生13名)という状況。

学校教育課長 これまで学校で感染者が出ていたが、学校でクラスターを発生させないために、家庭にも協力を求め、早め早めの対応を行っており、本町の対応には県の保健所からも高い評価をいただいている。



コロナワクチン接種

◆町の人口減少対策に基づき町の様々な施策は

問 町内に移住する人より町外へ移転する人が多いが、限界集落の問題が関連して、町内でも地域間の格差が拡大しているのでは。

地域振興作物付けに対する生産拡大に本腰を

答 ブランド力を上げる



中村勘太郎 議員

問 町長の儲かる農業施策とは、地域振興作物のタマネギ・ニンジン・ニンニク・スイートコーン等の更なる農産物のブランド化、周知、販売促進を強力的に推進するののか。

答 町長の儲かる農業施策とは、地域振興作物のタマネギ・ニンジン・ニンニク・スイートコーン等の更なる農産物のブランド化、周知、販売促進を強力的に推進するののか。

町長 儲かる農業は大

事、ブランド力上げる。A級品、とりわけその中でも高級なものに、このブランド力をつけて、それが売れることによってほかの商品も売れていく。儲かる農業をしっかりと、いろんな角度から応援する。

問 絶対これに力を入れるのだと、強力的に、生産者に対する勇気づける言葉を。

町長 担い手協議会を立上げ、農業に従事さ

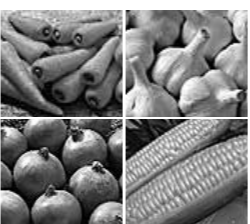
れているプレーヤーの方々の色々なチャレンジしたいと言う話を聞き、補助制度をしつかりつくっていききたい。

問 振興作物を生産拡大し、ブランド化を推進するのには、生産技術指導者や、担い手の育成が生産者の課題だ。

町長 地域おこし協力隊の専門員をスカウトし、その専門員が地域の方々の担い手を募集するような仕組みで取り組めないか。

農林課長 営農に関する指導強化として、JAや農業作物の専門員の地域おこし協力隊の取り組みも可能と考える。

問 地域振興作物の作付けに関する補助金は、作付面積及び収



長岡千恵子 議員

若者に選ばれるまちへ

答 時流に合った取り組みは大事

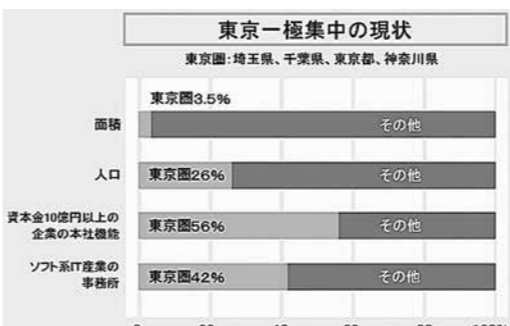


酒井秀和 議員

問 人口増加策については、全国的に見て社会動態が増加している自治体でも、自然動態の減少を上回る事例はなく、この課題の解決は、東京一極集中の是正に本気で取り組むこと。合同特殊出生率が高い地域は持ち家率が高い、地域との結びつきが強く子育てがし

やすい、同居率が比較的高い、雇用が安定している。と示されているように、日本の人口増加の力は地方が握っていることに注力して、今以上に若者に選ばれるまちへと変革することが重要だと考える。『若者に選ばれるまち』とはどのようなものか。若者・生産年齢人口増加に向けた施策は、東京一極集中を是正する施策は、掲げた目標を達成するためにどう考えているののか。

町長 若者が移住する町は、仕事や学問、子育て、くらしなど選択肢が多い場所に集中すると考えている。



総合政策課長 若者

学校のタブレットの配置と活用は

答 機能や操作は同一。教員配置に配慮



長岡千恵子 議員

問 同一機種のタブレットを配置しているの

か。

学校教育課長 令和2年10月に977台、令和3年5月に572台整備。この間にモデルチェンジがあり、異なる機種を配備。機能や操作性に違いはない。

問 クラスの中でモデルの異なるものが配置。そろえることはできないか。

学校教育課長 端末と児童生徒一人一人をひもつけて、入学から卒業まで一元管理。新入生からなるべくそろえるように配慮。

問 授業のオンライン配信について各学校の状況と是正方法は、

学校教育課長 教員の得手不得手でタブレット



タブレットを活用した授業

の活用やスキルに差がある。研究会や研修を実施。

教育課長 今回の人事異動で、ある程度満遍なく、バランスよく配置できるよう考慮した。

問 オンライン授業にはライブ配信と録画配信があり、それぞれに一長一短がある。どうするの

学校教育課長 ライブ配信を録画して配信することも可能。研究会で教育効果上がるように検討する。

問 オンライン高生対象にアンケート実施。結果は「トイレ個室」81%

「トイレ手洗い場」6%

「保健室」4%。県も生徒の希望に添った配置を検討。町でも新学期からトイレに配置できないか。

町長 保健の先生を含め、学校の皆さんと前向きに検討。

まちづくりへプラス要因が見えない

答 地域で盛り上がり大事



金元直栄 議員

問 町は県都にも近く住む条件は良いが、工場が立地しても宅地の供給がなければ人は定住しない。医科大病院が出来た時、官舎は丸岡地係にしかなかった。また、子育て支援も、町独自の良さもなくなりつつある。さらに学校の統廃合は、地域に分断を持ち込むことで、大きなマイナス要因だ。

町長 住民生活の中で、満足度など多くのジャンルがあり、バランス良くが大切だ。全

国の人口が減っている中で、何をすれば人口が増えるのか、それが柱になってくる。何をするのか、地域での盛り上がり大事だ。

◆生産者米価下落への支援が見えない

問 コロナ対策の一環として商業事業者へは、国も町も支援が何度も行われてきた。ところが、コロナ禍での米価の下落への支援は一部大規模農家への支援以外にない。勝山市では支援に踏み切ったのに、本町にはない。どうしてか。

保育士等の処遇改善、町では

答 国は介護・保育



酒井秀和 議員

問 国は介護・保育等

で働く人は、一般の働く人と月額10万円安く、賃金を月9000円引き上げるよう示した。原因は町でも保育士の半分以上が非正規職員。民間園も同様で、介護の分野も安い。この原因を正さない限り待遇は改善しない。

総務課長 保育士や給食調理員の職種で、基礎賃金を上げ対応した。非常勤職員の待遇は、令和2年より会計年度任用職員とし、労働環境の整備を行い努力している。

町長 国は介護・保育等

で働く人は、一般の働く人と月額10万円安く、賃金を月9000円引き上げるよう示した。原因は町でも保育士の半分以上が非正規職員。民間園も同様で、介護の分野も安い。この原因を正さない限り待遇は改善しない。

町長 国は介護・保育等

で働く人は、一般の働く人と月額10万円安く、賃金を月9000円引き上げるよう示した。原因は町でも保育士の半分以上が非正規職員。民間園も同様で、介護の分野も安い。この原因を正さない限り待遇は改善しない。

問 民生委員の困りごとについて

答 少子高齢化、コロナ下で負担増



酒井 和美 議員

問 民生委員のなり手問題について、奨学金返還支援制度を当町にも導入し、補助要件に「町内会活動協力」を盛り込んでみては。

自主防災組織・民生委員の連携は。福祉保健課長 活動活発な地区では密接に連携。自治会によって温度差があるかもしれないが、今後の推進のため説明していきたい。

捉えている。意向調査の範囲を拡大し前倒しを進める。

総合政策課長 先進事例を確認して内容を研究したい。

問 コロナで実家帰省の回数が減少。民生委員への負担が想像される。家族の支えあいを促せないか。

◆子ども家庭庁創設にむけて

問 負担増へ増員は。福祉保健課長 国・県・地元と協議。増員の全国例もある。まず福祉委員、小地域福祉委員会を活性化したい。

◆子ども家庭庁創設にむけて

問 国会法案が提出された「子ども家庭センター」設置について当町のイメージは。相談しやすい空間配慮も求められている。

福祉保健課長 シルバ1人材センターに墓の清掃依頼などサービス創出していきたい。

◆子ども家庭庁創設にむけて

問 子育て支援課長 このセンターがめざす母子保健と子育て支援の統合を当町ではすでに「子育て世代包括支援センター」で行っている。さらに複雑な問題に対応できる新しい場所を設ける必要性も考えている。

問 災害時の要配慮者支援について自治会・

◆ウッドショックを受けて

町長 配慮が大事。元消防の司令室など利用を考えたい。



民生委員児童委員協議会との意見交換会

農林課長 国産材の需要増、価格高騰、林業にとってはチャンスと

町長 配慮が大事。元消防の司令室など利用を考えたい。

福祉保健課長 令和元年10月にA型事業所1軒、平成31年1月と4

問 地域活動支援センターの状況は。



支え合いの体制図

問 障がい者福祉の現状は

答 共生社会を大切に、引き続き取り組む



江守 勲 議員

問 本町で障がい福祉サービス受給者証の取得人数は。

月にB型事業所が2軒できた。就労系サービスの利用が身近になったと考えている。町の事業所を利用して

福祉保健課長 障がい福祉サービス受給者証193人、障がい児福祉サービス受給者証58人。

問 過去数年で受給者証の取得者数の増減と、今後の増減の予測は。

福祉保健課長 令和元年度が障がい者福祉サービス受給者180人、障がい児福祉サービス受給者35人。今後増える見込み。

問 放課後等デイサービスの状況は。

福祉保健課長 町内では、集団療育型が3か所事業展開している。県全体として個別療育型事業所は不足状態。待機がないように相談員が調整しているが、1対1のサービスで従事者が不足している状況。

問 町ではすでに障がい者福祉に取り組んでいるが、引き続きの取り組みを。

町長 今までも一生懸命取り組んできた。共生社会を大切に、引き続きしっかり取り組む。

福祉保健課長 町では、永平寺あぐりの家へ委託事業を行っている。現在、平日のみ開催で、約6名程度の利用者として記憶している。

問 「小中の適正配置」統廃合の考えは

答 答申の大筋を尊重・基本として



上田 誠 議員

問 町政3期目の基本姿勢は。

町長 コロナ禍で対話の大切さを痛感した。「思い」「支え」「敬意」を肝に銘じ進める。

◆その他の質問

問 町長方針に小中の適正配置は、答申の大筋を尊重し基本として進めるとある。検討

町長 コロナ禍で対話の大切さを痛感した。「思い」「支え」「敬意」を肝に銘じ進める。

会委員長は専ら子どもの教育面からであり、

町長 コロナ禍で対話の大切さを痛感した。「思い」「支え」「敬意」を肝に銘じ進める。

地域の中での位置づけや、まちづくりの観点から答申していない。

町長 コロナ禍で対話の大切さを痛感した。「思い」「支え」「敬意」を肝に銘じ進める。

今後の生徒数から学校名をあげて答申がなされた。しかし、学校は

町長 コロナ禍で対話の大切さを痛感した。「思い」「支え」「敬意」を肝に銘じ進める。

地域抜きで論じられない。まちづくりの拠点と位置付けることが今

町長 コロナ禍で対話の大切さを痛感した。「思い」「支え」「敬意」を肝に銘じ進める。

後重要。子どもの生活の場として地域の必要性(教育改革の有識者

町長 コロナ禍で対話の大切さを痛感した。「思い」「支え」「敬意」を肝に銘じ進める。



志比南小学校通学風景

【その他の質問】
問 困り事の福祉課題相談体制の再整備を。
答 しかるべき時期に相談窓口を見える形で提供する。
問 新学期、SNS社会から子どもを守る体制は充分か。
答 日常的指導や保護者向けの生活指導など、家庭での対応の重要性も含めて進める。
問 コロナ禍での学校の対応の充実を。
答 学校行事、ワクチン接種等十分な対応をしていく。

◆指定管理制度に見合った運営を
問 指定管理制度は、普通公共団体(町)が建てた施設で町民の福祉向上を目指す事業を、行政に代わって民間企業が実行する制度である。宿泊施設笑来目的は、町のファン、サポーターを創出することと書かれており、指定管理制度の趣旨と合わないのでは。
副町長 監査委員からもご指摘を頂き、町民の福祉向上となる運営方法を協議中。

◆継続して欲しい近助タクシー
問 近助タクシーは、志比北地区に引き続き、吉野・志比南で試行運転している。これは町の直接事業で、ドライバーは町の非常勤職員。継続することが重要で、事故を起こさない対策を。



志比南地区近助タクシー出発式

問 団体補助金の透明性確保を

答 役割を明確にし、今後協議



滝波登喜男 議員

問 令和元年の行政監査において「団体の人件費に対する補助は基準を定め、その団体と議論する仕組みの構築を」とある。社会福祉協議会と観光物産協会の基準は。

町長 人口減少社会が進む中、地域の学校として、そこで学んでいる子ども達それぞれが、いのか、どうすべきかをしっかり議論して進めていく。

財政課長 社協については、補助要綱と人員等に基づいて額を決める。物産協会は、強化の時期で額を増やした。

町長 人口減少社会が進む中、地域の学校として、そこで学んでいる子ども達それぞれが、いのか、どうすべきかをしっかり議論して進めていく。

町長 コロナ禍で対話の大切さを痛感した。「思い」「支え」「敬意」を肝に銘じ進める。

町長 コロナ禍で対話の大切さを痛感した。「思い」「支え」「敬意」を肝に銘じ進める。

町長 コロナ禍で対話の大切さを痛感した。「思い」「支え」「敬意」を肝に銘じ進める。

町長 コロナ禍で対話の大切さを痛感した。「思い」「支え」「敬意」を肝に銘じ進める。

町長 コロナ禍で対話の大切さを痛感した。「思い」「支え」「敬意」を肝に銘じ進める。

町長 コロナ禍で対話の大切さを痛感した。「思い」「支え」「敬意」を肝に銘じ進める。

町長 コロナ禍で対話の大切さを痛感した。「思い」「支え」「敬意」を肝に銘じ進める。

町長 コロナ禍で対話の大切さを痛感した。「思い」「支え」「敬意」を肝に銘じ進める。

町長 コロナ禍で対話の大切さを痛感した。「思い」「支え」「敬意」を肝に銘じ進める。

町長 コロナ禍で対話の大切さを痛感した。「思い」「支え」「敬意」を肝に銘じ進める。

町長 コロナ禍で対話の大切さを痛感した。「思い」「支え」「敬意」を肝に銘じ進める。

町長 コロナ禍で対話の大切さを痛感した。「思い」「支え」「敬意」を肝に銘じ進める。

町長 コロナ禍で対話の大切さを痛感した。「思い」「支え」「敬意」を肝に銘じ進める。

町長 コロナ禍で対話の大切さを痛感した。「思い」「支え」「敬意」を肝に銘じ進める。

議会・各委員会の議員出欠状況

令和4年2月9日～令和4年4月12日

議員名(議席番号順)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14		
	松川正樹	上田誠	中村勘太郎	金元直栄	滝波登喜男	齋藤則男	江守勲	伊藤博夫	長岡千恵子	川崎直文	酒井和美	酒井秀和	朝井征一郎	奥野正司		
出席回数	20	23	20	22	26	20	26	23	19	20	25	27	23	20		
会議回数	22	23	20	22	26	20	26	23	19	20	26	27	23	20		
出席率	91%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	96%	100%	100%	100%		
No.	日付	会議名	○…出席 ×…欠席 —…員外 △…遅・早 研…研修 傍…傍聴 吊…吊事													
1	2/9	総務産業建設常任委員会	○	—	○	—	—	○	—	○	—	○	—	○	傍	○
2	2/10	議会運営委員会	—	—	—	○	○	—	○	○	—	○	○	傍	傍	
3	2/10	臨時全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4	2/14	吉峰キャンプ場跡地説明会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
5	2/14	タブレット研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6	2/24	定例全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7	2/24	予算説明	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8	2/28	予算説明	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
9	2/28	臨時全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
10	2/28	議会広報特別委員会	○	○	—	—	○	—	○	—	○	○	○	—	○	
11	3/7	定例全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12	3/7	議会運営委員会	—	—	—	○	○	—	○	—	○	○	傍	傍		
13	3/14	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
14	3/14	本会議(開会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
15	3/15	一般質問(1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
16	3/16	一般質問(2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
17	3/17	本会議(第一審議)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
18	3/18	本会議(第一審議)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
19	3/22	本会議(第一審議)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
20	3/22	議会広報特別委員会	○	○	—	—	○	—	○	—	○	○	○	—	○	
21	3/23	総務建設産業常任委員会	○	—	○	—	○	—	○	—	○	—	○	—	○	
22	3/23	教育民生常任委員会	—	○	—	○	○	—	○	—	○	—	○	傍	○	
23	3/25	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
24	3/25	本会議(第3審議、採決)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
25	4/6	教育民生常任委員会	—	○	—	○	○	—	○	—	○	—	○	傍	○	
26	4/6	議会広報特別委員会	○	○	—	—	○	—	○	—	○	○	○	—	○	
27	4/11	議会運営委員会	—	—	○	○	—	○	—	○	—	○	傍	傍		
28	4/11	議会広報特別委員会	×	○	—	—	○	—	○	—	○	○	○	—	○	
29	4/12	総務建設産業常任委員会	×	—	○	—	○	—	○	—	○	—	○	—	○	

議会活動レポート

Eiheiji town council activity report

ホームページ・facebookに
随時更新中!

1/17 民生委員との
意見交換会



1/20 第1回臨時会



2/10 議会運営委員会



2/14 タブレット研修会



2/14 吉峰キャンプ場
新規事業説明会



2/24・28 全員協議会
(予算説明)



3/14 齋藤議員自治功労者
表彰伝達式



3/14 第2回定例会開催



3/16 県立大学
学生食堂視察



4/11 交通安全街頭活動



心繋がる永平寺町議会

お知らせ

あなたが撮った写真を
議会だよりの表紙に
しませんか？

私の永平寺町自慢を募集！

あなたが大好きな永平寺町の季節ごとの風景や、誰も知らない素敵なお隠れスポットをご紹介頂いて、議会だよりの表紙にて永平寺町の魅力を発信してください。（議会だよりは年4回の季刊発行です。）



応募方法：

メールにて「私の永平寺町自慢」の件名にて、ご住所・お名前・お電話番号、写真を撮った場所を記載し、画像ファイル（jpg、4000×3000px、1MB～5MB程度のもの、縦長）を添付の上、下記議会事務局のアドレスまでお送りください。

E-mail:gikai@town.eiheiji.fukui.jp

現像写真やCD-Rの場合は、〒910-1192 永平寺町松岡春日1丁目4番地 議会事務局まで郵送下さい。

※お名前と撮影場所を掲載させてください。

※人物が写っている場合には掲載の許可を頂いているものをご提供下さい。

※60～67号で応募していただいたお写真を表紙にさせていただく予定です。

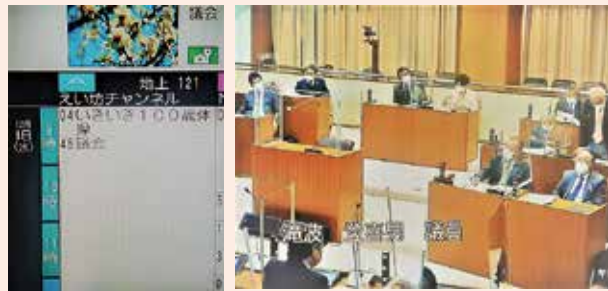
応募多数の場合には、67号裏表紙にて掲載させていただきます。



議会だよりを読んで
さらに詳しく議会の
知りたくなったら？

初級者編：テレビをみての！

議会は生中継を行っています。



再放送は翌々月1日より順次放送します。朝6時、夜12時、1日2回同じ内容を放送します。

放送日程はテレビのリモコンの番組表ボタンを押してご確認ください。

中級者編：傍聴にきての！

上級者編：ホームページをみての！



役場本庁舎3階までお上がりください。エレベーターもごございます。事前申込み不要。お気軽にお越しください。



議会日程や議事録が閲覧できます。議員の意外な横顔も!?



<https://www.eiheiji-gikai.jp/>

議会広報特別委員会

委員長 朝井 征一郎
副委員長 酒井 和美
委員 松川 正樹・上田 勲
滝波 登喜男・江守 誠
酒井 秀和

発行責任者 奥野 正司

令和4年2月24日から始まったロシアのウクライナ侵略は、国連憲章および武力の行使を禁ずる国際法の深刻な違反であり、国際秩序の根幹を揺るがす重大な事例である。

これに対し、令和4年3月25日、永平寺町議会は「ウクライナからのロシアの即時かつ無条件撤退に向けた日本政府に対する毅然とした制裁措置の徹底強化を求める決議」を採択した。

本誌発行時点でのような情勢に変化しているか現時点で予測はできませんが、ひとりの人として、このような事態は早急に鎮静化し、決して繰り返さないこと。世界各国が手を取り合って、世界の恒久平和と地球を守るための行動に注力していただきたいと思います。

(酒井秀和 記)

編集者のひと言